

鳥取県人権意識調査結果の概要（H23.2 調査）

本書は、「鳥取県人権意識調査」の主要な集計結果のあらましをまとめたものです。

詳細については、後日（平成24年2月予定）刊行する報告書に掲載します。

平成23年12月

鳥 取 県

目 次

	ページ
【調査の概要】	
1 調査の目的	1
2 調査の概要	1
3 資料のみかた	1
【回答者の属性】	
1 性別	2
2 年齢	2
3 職業等	2
4 居住地域	2
【調査結果】	
問 1 「人権」を身近に考えるかどうか	3
問 2-① 被害経験の有無	4
問 2-② 被害経験の種類	5
問 2-③ 相談場所	6
問 3-① 公的機関への相談希望	8
問 3-② 公的機関に求める支援	9
問 4 人々の意識に存在する差別	10
問 5 社会のしくみに存在する差別	12
問 6 必要な取り組み	14
問 7 行政に求める施策	16
問 8-① 啓発物に触れた経験	17
問 8-② 啓発物の感想	18
問 8-③ 啓発物を読まない理由	20
問 9-① 研修会等への参加回数	21
問 9-② 参加理由	22
問 9-③ 研修会の感想	23
問 9-④ 不参加理由	24
問 10 啓発手法	25
問 11 求められる学校教育	26
問 12 部落差別の現状	28
問 13-① 部落差別についての見聞き	31
問 13-② その際の対応	33
問 14 同和地区出身者との結婚	34
問 15 同和地区における住宅	37

問 16	障がい者の人権の現状	4 0
問 17	身体障がい者への必要な施策	4 2
問 18	知的障がい者への必要な施策	4 4
問 19	精神障がい者への必要な施策	4 6
問 20	子どもの人権への必要な取組	4 8
問 21	児童虐待防止で必要な取組	5 0
問 22	高齢者にとって問題となるもの	5 2
問 23	認知症への印象・感想	5 4
問 24	外国人の生活に支障となるもの	5 6
問 25	外国人の制度上の制約	5 8
問 26	患者などへの必要な取り組み	5 9
問 27	直近で受けた医療機関の対応	6 0
問 28	刑を終えて出所した人への接し方	6 1
問 29	犯罪被害者への必要な取組	6 2
問 30	性的マイノリティの理解度	6 4
問 31	個人のプライバシーの侵害	6 5
問 32-①	身元調査の必要性	6 8
問 32-②	身元調査の肯定理由	7 1
問 33	インターネット上の人権侵害で必要な取組	7 4
問 34	ユニバーサルデザインの理解度	7 7

調査の概要

1 調査の目的

鳥取県人権意識調査（以下「調査」という。）は、人権に対する県民意識の変化、新たに認識の高まった人権問題についての県民意識及び求めている施策の方向性等を把握し、人権施策基本方針の改訂や人権問題についての教育・啓発活動など今後の人権施策推進の基礎資料とすることを目的として実施した。なお、この調査は、今回が3回目の実施である。（前々回平成9年度、前回平成16年度）。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 平成23年2月1日現在で20歳以上の県内に暮らす者
- (2) 抽出方法 ①住民基本台帳から3,000名を抽出
②外国人登録原票から17名*を抽出
※①の抽出数に、県総人口における県内外国人登録数の割合を掛けた人数分（24名）の外国人登録原票の開示を4市5町へ請求。そのうち、請求に応じた市町村で抽出できた人数。
- (3) 調査客体数 (2)により抽出した者に送付した調査票に関し、宛先又は移転先不明等により返送された調査票を除いた2,974名
- (4) 調査時期 平成23年2月
- (5) 調査方法 (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して実施した。なお、調査票の提出は無記名とした。
- (6) 有効回答数 1,535名
- (7) 回収率 51.6% (1,535/2,974)

3 資料のみかた

(1) 比率（%：パーセント）の表示について

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数（副設問では設問該当対象数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象に2つ以上の回答を求める設問では、百分率の合計は100%を超える。

また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。

(2) 「無回答」の取り扱いについて

以下の場合については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・回答数の制限を超える回答が選択されている場合

例：「○は1つだけ」という条件のある設問で2つ以上の回答を選択した場合など

(3) 選択された回答に矛盾がある場合の取り扱いについて

排他カテゴリ*以外の選択肢を採用することとした。

※排他カテゴリ…2つ以上選択できる設問の「必要ない」、「わからない」などの選択肢。

(4) 調査項目の「合計」の不一致について

クロス集計*の「合計」と単純集計の「合計」は一致しない。これは、クロス集計には、性別、年齢などが記載されていないものは含めていないためである。

※クロス集計…性別、年齢や他の質問項目をかけ合わせてデータの分析や集計を行うことにより、相互の関係を明らかにするための集計方法

回答者の属性

【性別】

	人数	(全体)%
男性	600	39.1
女性	907	59.1
無回答	28	1.8
合計	1535	100.0

【年齢】

	人数	(全体)%
20～29歳	120	7.8
30～39歳	227	14.8
40～49歳	269	17.5
50～59歳	352	22.9
60～69歳	371	24.2
70歳以上	173	11.3
無回答	23	1.5
合計	1535	100.0

【職業等】

	人数	(全体)%
農林漁業者	100	6.5
企業経営者、自営業者	112	7.3
企業・工場・商店勤務	299	19.5
教職員	47	3.1
医療・保健・福祉関係者	129	8.4
公務員(教職員、医療・保健・福祉以外)	47	3.1
その他専門職・自由業	24	1.6
家事従事	202	13.2
パート・臨時職員	204	13.3
学生	20	1.3
フリーター	11	0.7
無職	272	17.7
その他	26	1.7
無回答	42	2.7
合計	1535	100.0

【居住地域】

	人数	(全体)%
鳥取市	472	30.7
米子市	364	23.7
倉吉市	150	9.8
境港市	91	5.9
岩美町	23	1.5
若桜町	9	0.6
智頭町	26	1.7
八頭町	58	3.8
三朝町	24	1.6
湯梨浜町	54	3.5
琴浦町	50	3.3
北栄町	43	2.8
南部町	32	2.1
伯耆町	30	2.0
日吉津村	6	0.4
大山町	40	2.6
日南町	14	0.9
日野町	11	0.7
江府町	8	0.5
無回答	30	2.0
合計	1535	100.0